



岐阜北週報

3月 水と衛生月間

<input type="checkbox"/> 題字	岡田一二三	<input type="checkbox"/> 会長	岡田一二三	
<input type="checkbox"/> 例会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	湖山 浩行	2025-2026
<input type="checkbox"/> 会場	都ホテル岐阜長良川	<input type="checkbox"/> 幹事	井戸憲一郎	No.1994
		会報委員長	鈴木 隆行	26.3.11

前回の記録

第 1993 回 例会 3月4日 (水)
 慶祝行事
 クラブフォーラム (5)

担当：クラブ奉仕委員会

本日の予定

第 1994 回 例会 3月11日 (水)
 夜間例会

担当：会員増強委員会

次回の予定

第 1995 回 例会 3月18日 (水)
 夜間例会
 招待者卓話

担当：企画委員会・会員増強委員会

会長挨拶【岡田一二三会長】

ご縁の例会によろしくお越しくださいます。ありがとうございます。

店員にありがとうって自然に言える人は何か共通する特色がある

不思議な力を持っている。気づけば世の中には言わなくてもいいことを少しずつ言わなくなった。便利になってセルフレジが増えて、会話はどんどん短くなっていく。ありがたいも、レシートみたいに必要な人だけが受け取る。そんな形になるかもしれない。

でも 私はずっと思っている。長く幸せで静かにうまくいっている人はだいたい似ている。誰にも言われてない時にちゃんと優しい。誰も見てないところで評価も得もない場所でそれでも小さく頭を下げられる。

例えばお店のカウンターで袋を受け取る時 たった一言 ありがとうって言える。それは礼儀の話じゃない、性格チェックでもない。もっと深いところにある心の話だと思います。

今日はそう人たちが持っている 6つの特徴を 私なりの目線で話します。偉そうに教えるつもりはございません。ただ、私にも心が乾いて、ありがたいが、喉の奥で止まった日があった。そういう道を知っているからこそ、それとも言える人の静かな強さがよくわかります。

1つ目は見ているのは、役割 じゃなくて人

会長挨拶 続き

です。

昔、商店街の小さな八百屋でみかんを買ったことがある。季節は冬 手がかじかむような寒さで、店の奥ではラジオが小さく流れていた。レジにいたのは若い女の子で制服の袖は少しずれて、指先が赤くなっていた。私がみかんを差し出すと彼女は慣れた手つきで袋を広げた。その時、後ろから中年の男が苛立った声で言った。早くしろよ 寒いんだよ、彼女は小さくすみませんと言って手を早めた。でも、人の手は急がされると逆に固くなるんですよ。袋がうまく開かない 指が絡まる。男はさらに言った、仕事だろうが、こいつは目の前にいる彼女を店員としてしか見てないと思った。

人は役割で見られると急に軽く扱われる。棚の上の商品みたいに。だから私は 彼女が袋を結び終えた瞬間に、いつもより ゆっくり言った。ありがとう 寒いのに大変だね。特別な言葉じゃない、でも彼女は一瞬顔を上げて小さく笑ったんだ。ほんの少し 息が温まったみたいに、その表情を見て私は確信した。ありがたいと言える人はサービスを受け取っているんじゃない、生きている人間とすれ違っているんだ、お前も私も同じ一日を生きている。ただ立つ場所が違うだけだ それがわかる人は、人を雑に扱わない、彼は運も縁も長く 味方につける。成功する人は、派手な才能よりも こういう目線の優しさで残っていくんだと思います。

会長挨拶 続き

人を人として見る人は、人生そのものを粗末にしなくなる。そしてそれができている人は、もう一つ 静かな 土台がある。自分を高く置かない、ても、揺れない 心です。

だからこそ自然に 小さく 頭を下げられる。次は その話です。

2つ目は、自分が上って席に座らない。ある日 カフェで待ち合わせをしていて、私は少し早く着いた。隣の席にスーツ姿の男が座っていた。仕事の電話をしながらずっと眉間にしわを寄せている。店員が水を持ってきて失礼します。と置いた瞬間、 そいつは目も合わせずに言った。遅い。時計に文句を言うみたいに、店員は申し訳ありませんと言って下がった その背中が少し小さく見えた。

こういう場面で人の本音が見えるのです。大きな会議でも特別な場所でもない、ただの水 1杯、その時に相手をどう扱うか、それがその人の心の姿勢です。

しばらくして女性が入ってきて、その人の向かいに座った。店員が注文を取りに来た時、その女性は自然に言った、いつもありがとう 助かります。声も態度も 普通で、でも空気が変わった。店員の表情がほんの少し緩んだ。その後 不思議なことに、そのテーブルだけ時間が穏やかに流れた。コーヒーは早く出てきて、必要なものもさっと届く、そこには人が人を大切にしたい空気が生まれていた。これは媚びじゃない、ただ 自分は上じゃないって、体の奥で分かっているだけ。人は自分を高く 置くと落ちるのが怖くなる。だから誰かを下に置きたくなる。でも、最初から低い場所にいる人は落ちない、だから優しい。成熟 っているのはこういうことだと私は思っている。大きく見せなくても俺は俺でいられる。その落ち着きが、ありがとうになって自然に口から出てくる。自分を高く置かない人は、人生を競争じゃなく 積み重ね として見ている。だから気づく。

人生は大きな出来事で出来ているのじゃない。ほとんどは誰も覚えてないような小さな瞬間で出来ている。次は その小さな 瞬間の価値について話します。

3つ目は、人生はどうでもいい 瞬間の集まりだと知っている。スーパーのレジに並んでいた時のこと、前にいた男が会計を終えて 袋を受け取ると何も言わずにそのまま立ち去った。店員は慣れた表情で 次の客を呼ぶ顔つきも 声の調子も変わらない、その 何も起きなかった感じ

会長挨拶 続き

が 私は少し寂しく感じた。

レジ は不思議な場所で、 たくさんの人間が通り過ぎるのに ほとんどのやり取りが、金を渡す品物を受け取る。それだけでも本当はそこにもちゃんと 人と人の時間が流れている。袋を詰めて レシートを切る指、ありがとうございます の声、 それ全部がその人の 数分間の人生なんだよ、 ありがとうと言えるやつは この数分をただの作業だとは思っていない。たとえ一瞬でもそれは自分と誰かの人生が交わった時間だと知っている。だから、 小さな会計の場面でもちゃんと心を置いて行ける人は、人生は大きな出来事で出来ていると思いがちだ。

合格した日、結婚した日、仕事もうまくいった日、でも実際は その間に 積み重なった名前も、何千回もの瞬間で出来ている。レジでのたった 数十秒もその1つだ。どうでもいい時間なんて 本当はどこにもない、分かっている人は、目の前の店員とのやり取りも、人生の一部として扱う。

だから、自然にありがとうが出てくる。それは礼儀ってよりも、生き方の癖みたいなもの、小さな時間を大事にする人は、大きな人生も、丁寧に扱える。

そして目の前の数十秒を大切に出来る人にはもう1つの力がある。それはレジの向こうにいる人間の見えない1日を想像できること、次はその想像力の話です。

4つ目は、相手の見えない1日を 想像できる。ある雨の日のことだ コンビニにいと、レジに立っていた女性の目が少し赤く見えた。泣いた後だったのかもしれない。ただ寝不足だっただけかもしれない、本当の理由はわからない、

でも私はふと想像した。もしかしたら、朝子どもを急いで送り出してそのまま走って出勤したのかもしれない、もしかしたら 誰にも言えない心配を抱えたままなのかもしれない、レジの向こうにいる人間にも その人の生活があって 事情があつて物語がある。当たり前なのに私たちはすぐに忘れてしまう。だから急いでいる時ほど言葉がきつくなる。余裕がない時ほど人をただの機能として扱ってしまう。でも、想像できる人は違う。この人も、今日1日を生きてきた。そう思えるだけで声の温度が変わる。私はその日 釣り銭を受け取りながら言った。ありがとう、雨の中大変だね、女性は少し驚いた顔をして、それから ほんの少しだけ笑った。それだけです。でもその時私は思った。

会長挨拶 続き

優しさは、何かをしてやることじゃない、相手の見えない部分を想像しようとする事だ。それだけで、言葉は柔らかくなる。ありがとうと言える人は、目の前の人間の見えない1日を、ちゃんと感じ取れるやつだ。人の1日を想像できるやつは言葉の重みも知っている。言葉はただの音じゃない、心の形を、運ぶ小さな船みたいなものです。

5つ目は言葉が持つ力について少し話します。言葉には目に見えないけど、重さがあると知っている。若い頃は、言葉なんてただの音だと思っていた。口から出たら消える。空気みたいなもんだと。でも長く生きてるとそうじゃなくて分かってくるんです。言葉は消えない、相手の心に残るし、自分の中にも残る。

ある日、避難場所の現場でとんでもなく忙しい日があった。スタッフ みんなに余裕がなくて、空気も少し張り詰めていた。道具を運んできた若い女性スタッフがうっかり1つ落としてしまった。小さな音でも空気は、さらに硬くなった。誰かが叱る前に、私はその人に言った。ありがとう運んでくれて、それだけ、特別な励ましでもないし、その場の空気がふっと緩んだ。失敗は消えない、でも貴方は役に立っている。そんな空気がそこに生まれた。言葉の温度を変える力がある。そして不思議なことに、優しい言葉を使った人間の心も少し柔らかくなる。ありがとうっていうのは相手のための言葉のようでいて 実は自分の心の形も整えている。

人を責める言葉ばかり使っていると心はだんだん角ばっていく。でも、感謝の言葉をよく使う人の心には丸い、場所が少しずつ増えていく。だからありがとうと言えるやつは言葉の力をちゃんと知っているやつなんだよ。そして言葉の力を知っているやつには、もう一つ静かな共通点がある。それは、心の中が足りないでいっぱいだったことだ。次は その内側の豊かさの話だ

6つ目は、心の中に足りないよりも十分が多いひと。店員にきつく当たるやつを見るたびに 私は思う。

この人たちは今何かと必死に戦っている。時間が足りない、金が足りない、認められてない気がする。足りないが主になると人の心から優しくする 余白が消えていく、

以前こんなことがあった スーパーのレジに並んでた時のことだ 俺の前に40代くらいの

会長挨拶 続き

女性が立っていた。肩と耳で携帯を挟んで片手で財布を探りながら どこか落ち着かねえ様子、ちょっと待って 今お会計 だから電話の向こうに 少し強い声で言った。 やっと 順番が来て バーコードがうまく読めず店員が何度か やり直した。女性は大きく息をついて思わず言った。 もう遅いわね。この店定員は小さく 頭を下げて、申し訳ありませんと言った。その声は とても小さかった。 でもその後、 小さな変化が起きた電話の向こうで 子どもの声が聞こえたのかもしれない女性は数秒 黙ってふっと表情を緩めた。そして店員を見て声を少し落として言った。 ごめんなさいね 今日はちょっとバタバタしてて、待ってくれてありがとう。 たったそれだけだ。 でも 空気が変わったのがわかった。店員の表情が和らいで女性自身も さっきより静かに息をしていた。私は後ろに立ちながらはつきり感じた。 さっきまで あの女性の中は足りないでいっぱいだった。時間が足りない、気持ちの余裕が足りない、誰かに支えられてる感覚も足りなかった。だから言葉がトゲトゲしい。でも一瞬自分が誰かに支えられている側だと思い出した時、心は元の場所に戻って、そして、ありがとうが出てきた。自然にありがとうと言える人は、いつも穏やかな人間ってわけじゃない。 疲れる日もある。 余裕をなくす 日もある。 それでも心のどこかに覚えている場所がある。自分はもうすでにたくさん受け取っているってこと。

あったかい ご飯があったこと、 帰る場所があること、 今日も1日生きてこられたこと、 そんな小さなもう十分が心の底に静かに溜まっている。

人は他人と戦わなくていい、だからレジの向こうの人間にも 柔らかくなれる。心の中に静かな空き地がある人の言葉です。その空き地があるから 誰かを押しつけなくていい、勝ち負けにしなくていい、その見えない豊かさが長く続く幸せをそっとその人のそばに置いてくれる。ありがとうは、心に余裕がある時だけの言葉じゃなく 余裕を取り戻すための言葉なのかもしれない。

だからきっと、その一言を言える人は人生の中で何度でも優しさに戻ってこられる人。言葉は 相手より先に自分の心を形作る。ありがとうは相手の耳に届く前にまず自分の心を通る。だからその言葉をよく使う人の心は少しずつ柔らかくなっていく。優しい言葉を使うたびに

会長挨拶 続き

自分の中のトゲトゲした部分が少しずつ 削れていく。不思議だろ 誰かのために言ったはずの一言が一番変えているのは自分自身なんだよ。だから結局、店員に向かって言うありがとうってのは相手への礼儀ってよりも自分の心を整える小さな練習 みたいなもんだ。今日もどこかで誰かがレジに立っていて、誰かがコーヒーを運んでいて、誰かが見えないところで働いている。その人たちに向けたたった一言が貴方の1日をほんの少し柔らかくするかもしれない。最後に1つだけ言います。

もし、最近誰かに言われた ありがとうが、心に残っていたら あるいは、貴方が誰かに言った ありがとうで忘れられない瞬間があったら その小さな出来事を大事にしてください。言葉ってというのは、誰かの体験に触れた時、また新しい優しさを生む、私はそう思っている。

出席報告

会員数：30名

出席数：21/30名

出席率：70.00%

欠席者：9名（出席免除 3名）

慶祝行事

1 会員誕生日のお祝い

3月 7日	岡田一二三	会員
3月 22日	大友 芳宏	会員
3月 23日	永瀬 章	会員
3月 28日	鈴木 隆行	会員

2 パートナー誕生日

3月 6日	渡辺美貴子	様
3月 24日	林 久子	様
3月 26日	前川ひなみ	様

3 結婚記念日のお祝い

3月 6日	小森 保敏	会員
3月 16日	原尾 勝	会員

会員表彰・委嘱状

1. ポール・ハリス・フェロー認証

初回 渡辺 俊介 会員

2回目 榊原 典夫 会員、林 隆行 会員

3回目 波多野光裕 会員



2. 米山功労者表彰

三木 淳 会員、柳原 健二 会員



3. 米山功労クラブ

岐阜北ロータリークラブ（写真参照）



ニコニコ BOX (敬称略)

- ・岡田一二三：3月7日誕生日です。73歳になります。
- ・井戸憲一郎：今月もよろしく。
- ・永瀬 章：誕生日を祝っていただいて。
- ・原尾 勝：結婚記念日をお祝いただき、ありがとうございます。
- ・谷川 英喜：3月もよろしく願いいたします。
- ・棚橋めぐみ：本日は3月5日の観桜例会の締め切りです。参加費は、5,000円です。よろしく願いいたします。
- ・大友 芳宏：3月22日誕生日です。57歳です。
- ・前川 俊也：今日も元気で。

幹事報告事項

- ・例会終了後、定例理事会を開催します。関係者の皆様、よろしく願いいたします。

例会行事

担当：クラブ奉仕委員会

- ・クラブフォーラム 湖山 浩行 委員長
動画にてロータリー活動の紹介

次回例会のご案内

第1995回例会 3月18日(水)

夜間例会・招待者卓話

担当：企画委員会・会員増強委員会

委員会・同好会報告事項

・会員増強委員会 大友 芳宏 委員長
次回の3月11日は、夜間例会です。

18時受付、18時30分点鐘、会場は、柳ヶ瀬のエンザです。よろしく願いいたします。

・親睦交流委員会 棚橋めぐみ委員長
3月25日(水)は、観桜例会です。当日の飲み物のオーダーをこれから取りたいと思いますのでお願いします。残した場合は、買い取りになりますので、あらかじめ数を把握したいと考えておりますのでお願いします。

・湖山 浩行 次期幹事
次年度の名簿を回覧します。変更点等あれば記入ください。お願いします。

・三木 淳 直前幹事
年次報告書ができ上がりました。ボックスに入れましたのでよろしく願いいたします。

会報・広報 3月担当 原尾 勝